NTJU News

発行所：ヌヴォトン テクノロジージャパン労働組合
住　所：京都府長岡京市神足焼町1番地
発行人：山本　明広　　編集人：小田　一義

2022-No.14
2023年 3月22日

2023年総合労働条件改善闘争

速報⑤

CONTENTS

・No.5 縮小交渉

交渉は最終盤
ハドメを超え、更なる積み上げに向けて交渉中

1　NTJU － NTCJ　No.5 縮小交渉　3月22日(水) 10時～

３月２２日（水）：Ｎｏ．５縮小交渉を行い、更なる積み上げに向けて労使双方が主張を行った。

＜賃金改定について＞

会社　最終方針提示を受けて、会社としても検討の大詰めを迎えている。あらためてハドメの７０００円の根拠を示してほしい。

組合　新生ＮＴＣＪで懸命に頑張っている組合員の想いを汲んだ水準である。電機の回答は７０００円ではあるが、満額回答であったことは業界一丸となって賃金水準の改善を進めようとの意思表示であり、電機労使の重い判断である。ＮＴＪ労組としても、上部団体の意向をくむとともに、ＮＴＣＪに集う組合員の今後の事業競争力の強化に向けたさらなる挑戦意欲を喚起するという意味も込めて、この水準に設定した。

会社　回答内容については、現在の経営状況と次年度以降の影響を踏まえ、組合員への不安払しょくの為に何ができるのか論議してきた。単年度としてではなく、今後も持続的に成長するため、「人への投資」は賃金のみならず、人材育成、福祉政策、働く環境の整備等、総合的な視点で考えていかなければならない。他方で、組合の要求への想いも認識している。それを踏まえた回答としたい。

組合　回答指定日を明日に控え、組合員も会社回答に期待している。現段階での会社回答意向を伺いたい。

会社　今交渉における組合要求水準は前例のないものであり、ハドメ水準への回答でさえ、当社始まって以来の水準である。しかしながら、組合の要求も重いものがあり、経営状況、他社動向を踏まえ、ハドメ水準については、確保したいと思っている。

組合　ハドメ水準の確保は確認できた。しかし、組合員は満額回答への期待は例年になく大きい。残された時間は少ないが、会社の更なる英断を求めたい。

＜初任給について＞

組合　初任給についてはどうか。

会社　労働市場の環境が激化している状況を踏まえ、組合のハドメは超える回答を考えている。

＜一時金の業績反映部分の配分について＞

組合　２３年度以降支給の一時金の利益１０億円を超える部分の配分について、あらためて伺いたい。

会社　１０億円を超える原資については、現在の労務構成及び総基準内賃金を踏まえ、組合員及び全従業員の経営貢献が反映できる様設定する。明日、最終回答させて頂く。

組合　組合員の事業計画達成へのモチベーションを高めるために、より手触り感が高まる設定をお願いしたい。